

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんちゃん梁川教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 15日		～ 令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 15日		～ 令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のこどもの特性やニーズを踏まえた支援計画の作成と、計画に沿った支援の実施ができてきていること。	アセスメントを適切に行い、こどもや保護者の意向を確認しながら個別支援計画を作成している。児童発達支援管理責任者のみでなく、支援に関わる職員間で共通理解を図り、計画に沿った支援につなげている。	モニタリング結果や日々の記録をより効果的に活用し、支援内容の見直しや目標設定の精度をさらに高めていく。
2	保護者との信頼関係が築かれており、説明・相談対応・情報共有が丁寧に行われていること。	日頃からこどもの状況や課題について保護者と伝え合い、相談や申し入れにも迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。運営規程や支援内容についても丁寧に説明し、共通理解を大切にしている。	面談機会や情報発信の頻度・方法をさらに工夫し、家庭での関わりに役立つ助言や情報提供の内容もより充実させていく。
3	安心して通所できる環境づくりと、安全管理体制が整っていること	生活空間の清潔保持や構造化、個別に落ち着ける場所の確保に努めるとともに、事故防止・緊急時・感染症対応等の各種マニュアル整備、避難訓練、ヒヤリハット共有などを実施している。	訓練実施や安全計画の内容について、保護者へより分かりやすく周知する機会を増やし、安心感をさらに高めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	夏祭りや子ども食堂等で交流の場を設けているが、まだまだ地域との交流や、地域に開かれた活動の機会が十分とは言えないこと。	日々の支援体制の確保を優先する中で、放課後児童クラブ・児童館・地域のこどもたちとの交流機会づくりまで十分に手が回りにくいことが要因と考えられる。	無理のない範囲で地域行事への参加、近隣施設との連携、小規模な交流機会の設定等から段階的に取り組み、地域とのつながりを広げていく。
2	移行支援や外部機関との連携の一部に、さらに充実の余地があること。	就学前機関との情報共有や卒業後の移行支援、児童発達支援センターからの助言機会などは、対象児童やケースの状況によって実施頻度に差が出やすく、継続的・仕組み的な対応になりにくいことが要因と考えられる。	関係機関との連携手順や引継ぎ様式を整理し、対象ケースが生じた際に円滑に情報共有・移行支援ができる体制を明確化する。
3	保護者向けの家族支援や非常時対応の周知について、伝わり方に差があること。	家族支援プログラムや保護者交流、各種マニュアル・避難訓練等は実施しているが、参加機会や周知方法により、保護者によって認識に差が生じている可能性がある。	家族支援の内容、研修案内、避難訓練実施状況、安全計画等を、書面・LINE・おたより等で定期的に発信し、保護者が把握しやすい形に整理していく。